

「有明ひまわりセンター」視察について（報告）

大牟田・荒尾清掃施設組合では、新たなごみ処理施設の整備に向けた取組みを進めています。その一環として、ごみ処理施設の安全性について、一層のご理解をいただきたいと考え、新たなごみ処理施設の建設予定地であります明治校区にお住いの皆さまを対象として「有明ひまわりセンター」への視察を行いましたので報告します。

- 1.視察日 令和6年9月4日
- 2.参加者 明治校区にお住まいの皆さま（10名）
- 3.視察先 有明ひまわりセンター
（柳川市橋本町 631-7）

柳川市とみやま市の燃えるごみの処理施設で、令和4年3月から稼働しています。

本組合が整備を行う新たなごみ処理施設と同じ処理方式（ストーカ方式）が採用されています。



見学者用通路からごみピットを見学しました



壁に焼却炉などの映像を投影されました



啓発設備として環境クイズもありました



有明ひまわりセンター

【施設概要】

設置者：有明生活環境施設組合

敷地面積：約 12,400 m²

処理能力：92 トン/日（46 トン/日×2 炉）

処理方式：ストーカ方式

処理対象物：可燃ごみ、可燃性粗大ごみ

※ストーカ方式：国内の処理施設で多くの導入実績があり、安全かつ効率的な処理方式です。

当日は施設の概要の説明を受け、その後施設見学を行いました。

参加された方は、ごみ処理の流れや排ガス処理などについて施設を見学しながら説明を受けました。また、焼却炉などは実際に見学できないため、壁に焼却炉の映像を投影する設備などもありました。

見学後の質疑応答では、ごみを燃やした際の排ガスの処理、調査頻度、またダイオキシン類の調査場所などについて質問がありました。

見学された方からは、「施設から出る排ガスも基準値以下で、測定結果についてもきちんと公表されている。」
「大牟田市に建設される新たなごみ処理施設も、周辺環境に配慮した、臭いがもれない施設を建設してほしい。」などの意見がありました。